

平成28年度
学校関係者評価報告書

平成29年3月28日

学校法人おもと会 沖縄看護専門学校

目 次

1 学校の理念、教育目標	1	基準9 法令等の遵守	11
2 本年度の重点目標と達成計画	2	基準10 社会貢献・地域貢献	12
3 評価項目別取組状況		4 平成28年度重点目標達成についての自己評価	13
基準1 教育理念・目的・育成人材像	3		
基準2 学校運営	4		
基準3 教育活動	5		
基準4 学修成果	6		
基準5 学生支援	7		
基準6 教育環境	8		
基準7 学生の募集と受入れ	9		
基準8 財 務	10		

1 学校の理念、教育目標

教育理念	教育目標
<p data-bbox="535 411 651 440">教育理念</p> <p data-bbox="147 480 1106 620">本校の教育理念は、真・善・美の全人教育すなわち、豊かな知性、感性、強い意志のある人間を形成し、「生命の尊さ」、「人間愛」を育み、看護職への誇りと向上心を培う。専門職業人として現代社会や保健・医療・福祉をめぐる環境の変化に対応し、社会に貢献できる有能な人材を育成する。</p> <p data-bbox="535 727 651 756">教育目的</p> <p data-bbox="147 799 1106 863">教育の理念に基づき、豊かな教養と人格を備え、主体的に学習し、問題解決のできる有能な看護師を育成することを目的とする。</p>	<ol data-bbox="1137 432 2085 986" style="list-style-type: none">1. 人間の生命の尊さと健康の意味・価値を理解し、人格を尊重して、心のこもった行動を取る習慣を身につける。2. 知性及び感性を磨き、調和のとれた社会人として自己成長できる基礎を身につける。3. 問題を正しくとらえ、系統的に解決できる基本的能力を身につける。4. 自分なりの看護観を持ち、倫理に基づいた看護を提供する能力を身につける。5. 保健・医療・福祉制度を統合的に理解し、多職種と協働する基本的態度を身につける。6. 地域社会の中で生活する対象を理解し、適切な援助ができる能力を身につける。7. 専門職業人として、主体的に継続して学習する研究的態度を身につける。

2 本年度の重点目標と達成計画

平成28年度重点目標	達成計画・取組方法
<p>1. 本校の教育理念である真・善・美の全人教育実施 豊かな知性、感性、強い意志のある人間を育む</p> <p>2. 教育目標の達成</p> <p>3. 学生の臨地実習環境の整備</p> <p>4. 国家試験全員合格への支援…目標 100%合格</p> <p>5. 学校運営の安定</p> <p>6. 学生へのサービスの充実</p>	<p>1. 本校の教育理念である真・善・美の全人教育実施 日常の学生生活指導の中で、「知性及び感性を磨くこと」、「疑問を持つこと」、「自己の意志決定を明確にできること」そして「倫理観に基づく行動をとること」を習慣づけるよう支援する。</p> <p>2. 教育目標達成のための努力</p> <p>1) 学生の主体的な学びを育むための教育方法の充実 (1)プロジェクト学習 (2)シミュレーション教育</p> <p>2) 非常勤講師の安定的確保及び継続困難時を想定した対応</p> <p>3) 教員の資質向上のための研修 (1)日本看護協会学術集会をはじめ各種看護学会への参加 (2)沖縄県看護教育協議会 専任教員再教育研修の継続 (3)臨床実践力の維持・向上のための研修、他</p> <p>4) 教職員の職責及び業務分掌の実践と評価</p> <p>5) 教員のモチベーションアップのための目標管理の実施および評価</p> <p>6) 専任教員及び実習指導教員の安定的充足</p> <p>3. 学生の臨地実習環境の整備</p> <p>1) 安定した実習施設の確保及び急な断りへの備え</p> <p>2) 効率的な実習指導体制づくりの強化(実習施設との連携・協力体制)</p> <p>3) リスクマネジメント指導及び守秘義務遵守の指導</p> <p>4. 国家試験全員合格への支援…目標 100%合格</p> <p>1) 各学年で計画した国家試験対策の実施と評価</p> <p>2) 成績不振者への支援の徹底</p> <p>5. 学校運営の安定</p> <p>1) 学校法人の円滑な運営</p> <p>2) 様々な通信手段により発生する危険から学校・学生の安全を図る。</p> <p>3) 看護学校自己点検・自己評価の推進と公表</p> <p>4) 予算すなわち決算の遵守</p> <p>6. 学生へのサービスの充実</p> <p>1) おもと会と体へのヘルスケアセンターの紹介</p> <p>2) 年齢差のある学生への丁寧な対応</p> <p>3) 行動や学力、健康維持に問題のある学生への支援と家族との連携</p> <p>4) 諸感染症予防の指導</p> <p>5) 防災訓練の実施 (1)火災時避難訓練 (2)地震・津波時訓練</p> <p>6) 登下校中及び学内での安全対策 (1)交通安全指導 (2)生活安全(3)名札の徹底</p>

3 評価項目別取組状況

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特 殊な事情等）
<p>教育理念・教育目的・教育目標・育成人材像は明確に定められている。また、教育目的・教育目標・育成人材像や教育課程は教育理念を実現する内容となっている。それらは、入学式や学生後援会総会で学生や保護者に周知しており、年度末にはホームルームで学生と共に読み合わせ達成度の確認をしている。</p> <p>教育課程は厚生労働省の保健師助産師看護師学校養成所指定規則を満たしている。また、教育内容は実習施設や卒業生からの意見も参考にし、社会の状況や学生のレイネネスに対応していけるよう教員全員で毎年見直しを行っている。自ら学ぶ学生を育む教育方法として、プロジェクト学習、シミュレーション教育、ユニフィケーションシステムを導入している。</p> <p>教員採用に関しても保健師助産師看護師学校養成所指定規則を満たしており、看護教育に対する情熱と専門領域の臨床経験を重要視し選定している。</p> <p>看護学臨地実習は厚生労働省に申請認可された実習施設の協力を得ている。また各実習施設の理解を得るための説明会を重ね、臨床実習指導者の協力を得ながら人材を育成している。</p> <p>現在、カリキュラム検討委員会を中心に現カリキュラムの編成と新カリキュラム構築に向けての準備を進めている。</p>		<p><u>プロジェクト学習</u> 学生の主体的な学習への取り組み支援として入学前からプロジェクト学習を取り入れている。それはキャリアポートフォリオとして学生のキャリア支援へつながる。</p> <p><u>シミュレーション教育</u> 看護実践力の向上を目指しシミュレーション教育方法を取り入れており、ほとんどの領域で実践されている。</p> <p><u>ユニフィケーションシステム</u> 学内技術演習（基礎看護学、老年看護学、小児看護学、在宅看護論、精神看護学）では、実習施設の指導者の参加協力を求め双方の教育力向上を目的に意見交換をしている。</p>

学校関係者評価委員の意見・提言

意見・提言は特になく、妥当と思われる。

基準 2 学校運営

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育理念・教育目的・教育目標を達成するために運営方針を明確に定め、教育事業計画書に明文化している。また、年度末に教職員全員で学校評価を行い、評価結果を踏まえ重点目標を定め達成に向け教職員全員で取り組んでいる。</p> <p>学校法人おもと会理事会及び評議員会は、学校法人おもと会寄附行為に基づき予算理事会、決算理事会を開催し議事録を作成している。</p> <p>学校を運営するための事務及び教員組織、学生会組織、組織規程、組織図を明文化し、教職員や学生に周知している。さらに、各会議、委員会等の決定権限、委員構成等も規程等で明確にし、議事録は開催毎に作成保存している。</p> <p>教職員の採用基準・採用手続きは規程等で明確化し適切に運用している。また、教職員の採用に関しては適切な採用広報を行い、関係団体の協力も得ながら必要な人材を確保している。教職員支援として「おもと会心と体のヘルスケアセンター」を整備している。</p> <p>教職員の給与や昇任・昇給等に関する基準・規程は整備され適切に運用している。情報管理システムを構築し、情報の共有化・効率化を図っている。システムのメンテナンス及びセキュリティ管理はおもと会組織内のシステム課職員が常時対応し、適切に行っている。</p> <p><u>課題</u> 人事考課制度は整備されていない。</p>	<p>人事考課制度は整備されていないが、現在おもと会全体での整備計画を進めている。</p>	<p>「心と体のヘルスケアセンター」 教職員、学生に向けておもと会の「心と体のヘルスケアセンター」が整備され、予約し無料でカウンセリングが受けられる。教職員は月 1 回校内でカウンセリングが受けられ、年 2 回自己啓発研修がある。</p>

学校関係者評価委員の意見・提言
<p>意見・提言は特になく、妥当と思われる。</p>

基準 3 教育活動

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育理念・教育目的・教育目標を反映した教育課程を編成しており、厚生労働省の保健師助産師看護師指定規則を遵守している。教授科目の目標や教育内容、単位数・時間数は適切であり、卒業要件を満たし学生便覧や学校案内等に明示している。授業形態や授業方法も適切であり、シラバスは教育内容や教育方法を検討しながら毎年評価修正している。</p> <p>在校生の授業評価や卒業生（卒後 6 か月目）の意見は教育課程に反映させている。また、学内演習に参加協力して頂く実習施設の指導者（TA）からの意見や実習指導者協議会での意見は講義や演習・実習へと反映させている。</p> <p>キャリア教育に関して、学生は入学前学習会で各個人のポートフォリオを作成しその後 3 年間を通してキャリアポートフォリオを作成している。</p> <p>成績評価の基準は学生便覧に明示し入学時に学生および保護者に説明している。単位認定および卒業認定は認定会議において適正に判定している。また、社会人入学生に対しては、入学前の履修科目を規定に照らして単位認定している。</p> <p>看護師国家試験合格支援として、全員合格を目指し教職員全員で支援している。国家試験不合格者に対しても在学学生同様の支援を継続している。</p> <p><u>課題</u></p> <p>非常勤教員への授業評価結果の公表は未実施の状況であり、今後結果公表にむけて準備を進めていくことが必要である。</p>	<p>非常勤教員への授業評価結果の公表は未実施であり、今後結果公表にむけて準備を進める。</p>	<p><u>学生へのキャリア教育支援</u></p> <p>入学前にポートフォリオ作成を体験する。 入学後は 3 年間を通してキャリアポートフォリオを作成していく。 認定看護師等の特別講義の実施 卒業生の来校時や実習施設訪問時に意見を頂き、キャリア教育に反映させている。</p> <p><u>看護師国家試験合格支援</u></p> <p>各学年での対策会議 適時学生の面談及び指導 全国模擬試験受験準備 校内模擬試験の作成 特別講義の準備 教員管理で 20 時までの教室使用 少人数特別クラスの支援 国家試験手続きの指導 国家試験当日の支援 合格発表日の支援 不合格者の支援</p>

学校関係者評価委員の意見・提言

非常勤教員への授業評価結果の公表は未実施であるが、次年度以降は、講義開始前に、授業評価について丁寧に説明し、教育の質の向上をめざし、評価結果をお返しする方向で、進めた方がよい。

基準 4 学修成果

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特 殊な事情等）
<p>就職率 100%を目標としている。学生は教育システムが整いキャリア形成ができる職場を希望しており第一希望の職場への就職を支援している。3 月に1・2年生を対象に学内で就職説明会を実施している。学生は自主的に業者主催の就職説明会や病院主催のオープンハウスへ参加しながら就職に関する視野を広げている。進路担当教員は適時アンケート調査を行い就職状況の把握と教職員への周知を図っている。</p> <p>看護師国家試験合格は 100%を目標としており、平成 28 年度の国家試験合格率は 96.4%であった。現行の国家試験対策に、国家試験専門業者の対策講座を導入したことは効果的であった。</p> <p>卒業生の社会的評価に関しては、学校長が実習病院を訪問して卒業生の動向を把握している。また県外就職先に関しては、就職担当事務職員が連携を図りながら把握している。卒業生の卒業後の免許及び資格取得の動向を把握し在学生へも紹介している。</p>		<p>保健師、助産師免許取得者名簿</p>

学校関係者評価委員の意見・提言

意見・提言は特になく、妥当と思われる。

基準 5 学生支援

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生への就職等進路に関して就職担当教員と就職担当事務職員は連携しており、学生の就職活動の状況はデータ化し学内で共有している。</p> <p>学生の学業継続の相談に関しては、学年担当教員や学校長が保護者を交えて面接を実施している。また、学生の心身への支援として、おもと会「心と体のヘルスケアセンター」を整備している。センターの職員が4月に学生全員へセンターの役割や機能を紹介し相談しやすい環境を準備している。学年担当教員は4月に全学生の個人面談を実施している。平成28年度退学者は1名（0.4%）であった。</p> <p>学生の経済面に対する支援として困窮している学生には各奨学金の紹介や個別相談に応じている。大規模災害発生時及び家計急変時等に対する支援制度は整備している。</p> <p>定期健康診断、予防接種計画は保健師助産師看護師学校養成所指定規則に準じている。学校医はおもと会の医師が担当しており、有所見者への対応は健康管理担当教員が行っている。保健室を整備しており健康管理者も設置している。</p> <p>教育課程や卒業要件などに関して、入学式後や学生後援会総会で保護者へ説明会を行い、意見をうかがっている。</p> <p>卒業生への支援として同窓会が結成されており、また卒業後6か月目の支援としてカミングスクールデイを開催している。</p>		<p><u>学生への就職・進学支援</u></p> <p>1・2年に対する就職支援 3月に学内で就職説明会を実施している。</p> <p>3年生に対する就職・進学指導 個別の相談 面接の受け方 履歴書の書き方 論文対策を実施している。</p> <p><u>学生へ紹介している奨学金</u> 学校独自の奨学金制度 大浜芳栄奨学金 成績人物ともに優秀な学生に与えられる</p> <p>その他の奨学金制度 日本学生支援機構 沖縄県看護師修学資金 教育訓練給付金</p>

学校関係者評価委員の意見・提言

意見・提言は特になく、妥当と思われる。

基準 6 教育環境

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校施設・設備・機器類は設置基準、関係法令を遵守し充実している。学生の休憩・食事は教室を使用している。施設内はバリアフリー化に取り組んでおり、手洗い設備など衛生管理は徹底している。卒業生は申請により施設・設備を活用できる。施設・設備等は日常点検や定期点検を行い適時補修している。平成 28 年度施設内の壁の塗装、床面の補修、音響設備の補修、ロッカーやデスクセットの更新は終了した。</p> <p>実習環境として臨地実習の意義や教育課程上の位置づけを実習要綱に明示している。実習施設で実習協議会を持ち指導者と連携している。また、実習成績評価は評価基準を明確にしておき教育効果を確認している。</p> <p>学校行事は学生会を中心に学生主体で行っている。</p> <p>防災に関しては、学校防災計画、消防計画や災害発生時における具体的行動マニュアルを整備している。施設・建物・設備は耐震化に対応している。また消防設備等の整備及び保守点検は法令に基づき行い、年 1 回東部消防署の協力のもと防災訓練を実施し助言を受けている。本棚などの転倒防止対策は教務室から順次実施している。学校の安全管理として、学生の生命と学校財産を加害者から守るために防犯体制を整備し、学内では名札着用を義務付けている。実習室の薬品など危険物は鍵付き収納庫へ保管している。実習中の災害発生時の避難マニュアルは全施設で完成し実施している。学生と教員は全員総合補償制度（WILL）へ加入している。</p> <p><u>課題</u> 教職員・学生への防災教育は不十分であり充実させたい。</p>	<p>教職員および学生に対して防災教育を充実させる。</p>	

学校関係者評価委員の意見・提言

意見・提言は特になく、妥当と思われる。

基準 7 学生の募集と受入れ

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生募集に関して、学校説明会を開催し「学校案内」を作成している。また、教職員は高校主催の職業教育や学校説明会で看護職や教育課程について説明している。</p> <p>高校の教員や入学希望者、保護者に向けた学校案内の広報としてホームページにブログを掲載している。ブログは今年度からスマホにも対応しており、学校の様子が伝わるように工夫している。また、オープンキャンパスでは、模擬授業や在学生から直接学生生活を聞けるような工夫を行っている。志願者等からの入学相談には丁寧に対応しており、「学校案内」等で特徴ある教育活動や学修成果について紹介している。</p> <p>入学試験に関しては県内看護系大学3校、専門学校4校の入試計画を把握し本校の入学試験を計画している。</p> <p>入学選考基準や方法は、規程で明確に定めており適切に行っている。受験者数・受験倍率・合格率・辞退率のデータは適切に管理している。</p> <p>学納金の内容は明確にし、学納金等徴収する金額はすべて募集要項に掲載している。また、文部科学省通知に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱は、募集要項等に明示し返還している。</p> <p>課題 ブログの更新が滞る現状があり対策が求められている。</p>	<p>学校ブログの更新が滞る事のないよう事務担当を決め教員と協力しながら随時発信していく。</p>	<p><u>教職員の学生募集活動</u></p> <p>学校案内パンフレットの作成 学校ホームページ（ブログ発信） 学校説明会（高校の進路担当教員、塾講師） オープンキャンパス（2回） 学内で高校生へ学校案内と職業体験 2校 30名 各高校で職業教育 19校 408名 各高校で職業体験 6校 69名 各高校で学校説明会 36校 124名 会場で学校説明・職業教育・体験 14回 205名</p>

学校関係者評価委員の意見・提言

受験生確保の手段として、学校説明会は、普通高校・実業高校を含めて、実施校を増やした方が良い。
 選ぶ側の視点も含めた広報活動を実施した方が良い

基準 8 財 務

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校法人へ移行して4回目の決算を終え経営状態は順調に推移し、今年度の経常収支差額は黒字に転換した。</p> <p>収入においては、受験生数の目標は達成されなかったが予算どおりの収入を確保することはできた。</p> <p>学校法人は安定した財務状況である。中長期的に学校の財務基盤は安定しており、適切に会計監査を受けている。本校の業務は法令等に従い適正に実施されている。また、事業報告書は法令に従い、本校の状況を正しく示している。</p> <p>顧問会計事務所の公認会計士による定期監査を実施し指導を受けている。</p> <p>財務情報公開体制の環境も整い情報を公開した。</p> <p><u>課題</u> 受験生達成目標は370名であったが、受験生は354名（4.4倍）であり目標は達成されなかった。</p>	<p>受験生の確保に向け広報活動を充実させる。</p>	<p>過去5年間の受験者数の推移</p>

学校関係者評価委員の意見・提言
<p>意見・提言は特になく、妥当と思われる。</p>

基準 9 法令等の遵守

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特 殊な事情等）
<p>関係法令の設置基準に基づき、学校運営を行うとともに必要な諸届等は適切に行っている。また学校運営に必要な規則・規程等を整備し適切に運用している。</p> <p>学校安全委員会でセクシュアルハラスメント、パワーハラスメント等の防止のための方針を明確化し対応マニュアルを作成し周知している。教職員、学生に対してコンプライアンスに関する相談窓口は設置されている。また、教職員、学生に対し、法令遵守に関する研修・教育を行っている。</p> <p>個人情報保護に関しては、取扱方針・規程を定めている。学生・教職員・非常勤講師は個人情報保護に関する承諾書を提出している。5月に情報の取り扱いと危険性、個人の責任についての意識を高めることを目標に「SNSについて」の講演を実施した。SNSに関するトラブルは無かった。しかし、返却された試験問題をUSBデータ化し、学生間で共有しコンピューター教室に忘れていた事実があり、引き続き情報保護に対する意識を高める必要がある。</p> <p>学校自己点検自己評価は平成18年度から取り組んでいる。評価結果に基づき、教職員で課題解決に取り組んでいる。平成28年度から学校関係者に評価委員を依頼し、学校関係者評価委員会を開催している。新たな視点での評価は学校の質を高めることに繋がる。評価結果は報告書に取りまとめホームページで公表している。</p> <p><u>課題</u> 平成28年5月、試験問題を保存したUSBがコンピューター教室に放置されていた。</p>	<p>今後も引き続き年度初めのホームルームでUSBの取り扱いを含め個人情報保護について具体的な事例を示しながら丁寧に説明していく。</p>	

学校関係者評価委員の意見・提言

意見・提言は特になく、妥当と思われる。

基準 10 社会貢献・地域貢献

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校は、実習病院や他養成校、看護系大学、沖縄県と連携しながら運営している。学生の就職に関しては実習病院を中心として沖縄県内の医療施設に貢献できるよう就職指導をしている。3月に県内40病院に参加いただき1・2年生対象に就職説明会を実施している。</p> <p>学校施設・設備等は地域・関連業界等・卒業生に開放している。また、高等学校が行うキャリア教育の授業実施に教職員を派遣し協力支援している。</p> <p>社会環境問題への意識づけとして節電や節水などの省エネ対策や、学内外の清掃活動などを行っている。また、教職員・学生に対し、SNS等情報化社会の中での個人情報保護に関する教育を行っている。5月に全学生対象に「SNSに関する個人情報の取り扱い」の特別講演を実施した。</p> <p>学生ボランティア活動に関しては、医療・福祉関連施設でのボランティア活動や、地域活動として首里文化祭、尚巴志マラソン、那覇マラソン、学校周辺の清掃活動等への参加を奨励している。また定期的に、献血へも協力している。学生の活動実績は把握し記録として保存している。</p>		<p>教員による出前授業「<u>看護師への道</u>」</p> <p>高校主催 24校 397名受講 与那原町主催 1校 80名受講</p>

学校関係者評価委員の意見・提言
<p>意見・提言は特になく、妥当と思われる。</p>

4 平成28年度重点目標達成についての自己評価

平成28年度重点目標	達成状況	今後の課題
<p>1. 本校の教育理念である真・善・美の全人教育実施 豊かな知、強い性、感性意志のある人間を育む</p> <p>2. 教育目標の達成</p> <p>3. 学生の臨地実習環境の整備</p> <p>4. 国家試験全員合格への支援…目標 100%合格</p> <p>5. 学校運営の安定</p> <p>6. 学生へのサービスの充実</p>	<p>1. 本校の教育理念である真・善・美の全人教育実施 日常の学生生活指導の中で、「知性及び感性を磨くこと」、「疑問を持つこと」、「自己の意志決定を明確にできること」そして「倫理観に基づく行動をとること」は学年目標を意識しながら習慣づけるよう支援した。卒業生像を達成するための学年計画は実施できた。</p> <p>2. 教育目標達成のための努力</p> <p>1) 学生の主体的な学びを育むための教育方法の充実 プロジェクト学習やシミュレーション教育は各学年、各領域で実施されている。各学年でのポートフォリオシニア会も実施できた。</p> <p>2) 非常勤講師の安定的確保及び継続困難時を想定した対応 教育計画は滞りなく終了した。</p> <p>3) 教員の資質向上のための研修 日本看護協会学術集会をはじめ各種看護学会や、沖縄県看護教育協議会の専任教員再教育研修へ参加し自己研鑽に努めた。</p> <p>4) 教職員の職責及び職務分掌の実践と評価 教職員は職務分掌に基づき職責を果たした。</p> <p>5) 教員のモチベーションアップのための目標管理の実施および評価 全教員がビジョンゴールの評価と学校長面談を行った。</p> <p>6) 専任教員及び実習指導教員の安定的充足 専任教員、実習指導教員ともに充足されていた。</p> <p>3. 学生の臨地実習環境の整備 実習施設及び実習指導体制は安定しており年間実習計画は終了した。</p> <p>4. 国家試験全員合格への支援…目標 100%合格 各学年の国家試験対策は予定通り終了した。国家試験専門業者の講習会は学生後援会の支援で実施した。国家試験合格率は96.4%だった。</p> <p>5. 学校運営の安定 定員を確保し予算すなわち決算を遵守し運営は安定している。学校関係者評価を行い教育の質の向上に努めるとともに結果を公表した。</p> <p>6. 学生へのサービスの充実 行動や学力、健康維持に課題のある学生への支援と家族との連携、さらにおもと会こころと体のヘルスケアセンターでの支援は適切であり課題は解決された。 学生の安全を守る為に、SNS に関する特別講演、防災訓練や交通安全・生活安全対策を実施した。 3年生への進路相談、面接練習や履歴書記入などは個別に対応した。 3月に1・2年生対象に学内で県内40病院の就職説明会を実施した。</p>	

学校関係者評価委員の意見・提言

基準3 教育活動

非常勤教員への授業評価結果の公表は未実施であるが、次年度以降は、講義開始前に、授業評価について丁寧に説明し、教育の質の向上をめざし、評価結果をお返しする方向で、進めた方がよい。

基準7 学生の募集と受入れ

受験生確保の手段として、学校説明会は、普通高校・実業高校を含めて、実施校を増やした方がよい。

選ぶ側の視点も含めた広報活動を実施した方がよい

その他

特記事項は、他校にはない特色等を記載し、PRに活用した方がよい。

今回の評価結果は、概ね妥当である。